### 取付け説明書/取扱説明書/保証書





この度はドライブレコーダーをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。尚、読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

——————————————————————————————————————	次 ————————————————————————————————————
ご使用上の注意・       2         製品の機能・       5         ドピューワーソフト・       6         バックアップ機能・       6         オートディマー機能・       6         オートディマー機能・       7         製品本体・       7         製品本体・       7         製品本体・       7         製品本体・       7         製品本体・       7         製品本体・       7         取付け方法・       9         取付け方法・       9         取付け方法・       10         内蔵バッテリーの取付け・       11         電源の取付け・       11         電源の取付け・       11         電源の取付けた       11         電源の取付けた       16         SDカードの挿入方法・       16         動作確認・       17         電源をONにする・       17         電源をOFFにする       17         映像の記録方法・       18         バックアップチェック機能・       21	記録した映像を確認する・・・・・・22         ビューワーンフト内容・・・・・22         映像選択画面・・・・・22         記録映像のサムネイル画像・・・・22         記録映像のサムネイル画像・・・・22         記録映像のサムネイル画像・・・・22         記録映像のサムネイル画像・・・・24         ビューワーソフト内防         ビューワーソフトの内防         ビューワーソフトの方法(Windows 2000 / XP)・24         ビューワーソフトインストール方法(Windows Vista)・26         記録映像の再生方法・・・・・・28         記録映像の保存について・・・29         SD カードをフォーマットする         SD カードをフォーマットする         パソコンでの設定・・・・・31         日時設定・・・・・・・32         衝撃検出レベル設定(初期設定 8)         営量調整(初期設定 3)         記録した映像をパンコンへ保存         ジョンでの設定・・・・・・32         予全運転機能(初期設定 0FF)         33         と思ったら・・・・・・34         故障かな?と思ったら・・・・・・34         故障かな?と思ったら・・・・・・34         ガザー音、POWER / ERROR ランプ確認表・36         仕様・・・・・・・38         保証規定・・・・・38         保証規定・・・39         保証規定・39         保証         梁田
COM	TEC

目 次

## ご使用上の注意

える恐れがあります。

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いくだ さい。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いを すると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

#### 

#### <u>注意を無視した取扱いをすると、正常に作動しない可能性や、使用者</u> が障害や物的損害を被る可能性があります。

▲ 警告
●本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
●運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行っ てください。
●本製品は電子部品を使用した精密機器のため衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
●本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。また、自動車の 機能(エアバッグ等)の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原 因となります。
●本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を 依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
●本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
  ●木製品を医療機器の近くで使用しないでください、電波により医療機器に影響を与

#### ⚠ 注意

- ●本体の取付け位置は道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないようにフロントガラス上部(ルームミラー裏側)へ設置してください。
- ●フロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがありますので、ワイパーの可動範囲に本製品を取付けしてください。
- ●太陽などの高輝度の映像を記録すると、太陽が黒点のように映ることがありますが 製品の異常ではありません。
- ●本製品を取付ける際は、取付け面の汚れをきれいに拭き取ってから取付けしてください。汚れなどがある場合、走行時の振動などで本製品が外れるおそれがあります。

### ⚠ 注意

- ●LED 信号機は LED が高速で点滅している為、信号機が点滅しているような映像が記録 される場合があります。その場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。LED 式信号機の件について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ●本製品の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤作 動を起こす可能性があります。
- ●TVアンテナ(地デジ含む)の近くには設置しないでください。TVの受信感度の低下・ チラツキ・ノイズの原因となる可能性があります。
- ●キーを OFF にした時シガープラグの電源が OV にならない車両(外車など)は、別 売オプションのシガープラグコードの使用はできません。必ず付属の電源配線ユニッ トでイグニッション電源に直接接続してください。
- ●本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ●本体側面の通気孔を塞いだり、物を入れないでください。故障の原因となります。
- ●コード等の配線時は車両金属部とのショートに気をつけてください。
- ●本製品をイタズラなどの目的では使用しないでください。使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ●本製品で記録した映像を確認・設定する為にはパソコン・SD カードリーダーが別途 必要になります。
- ●本製品にはお買い上げの日から1年間の製品保証がついています。(但し内蔵バッテリー、テープ等の消耗品は保証の対象となりません。)
- ●部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店にお申し付けください。
- ●本製品は DC12/24V 車専用です。
- ●本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- ●本製品の仕様及び外観は改良の為、予告なく変更することがあります。ご了承ください。

### ⚠ 使用上のお願い

●本製品は、事故発生時に映像を記録することを目的として開発されたものです。全ての事故映像を記録することを保証するものではありませんのでご注意ください。また、万一の事故発生時に衝撃が弱いなどの原因で、センサーが正常に作動せずに本製品が作動しないことがあります。その場合は、安全な場所に停止した後にトリガスイッチを押して記録してください。

●取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなどないか定期的に点検をおこなってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。

### ▲ 使用上のお願い ●真夏などの炎天下の中では製品が正常に作動しないことがあります。特に夏場は車内 が高温になることがありますので、窓を開け車内の温度を下げてからご使用ください。 ● 定期的に製品の日時を確認してください。日時がずれている場合は P32 を参照し日 時の設定を行ってください。 ●内蔵バッテリーの寿命は約2~3年が目安となりますが、使用状況により内蔵バッテ リーの寿命が短くなることがあります。 ●定期的にバックアップチェック機能を使用し、正常に作動するか確認してください。 正常に作動しない場合は内蔵バッテリーの充電または交換を行ってください。 ●SD カードを抜く時は必ずキーを OFF にし、本体電源が OFF になったことを確認して から抜いてください。SD カードへのデータ書込み中及び読込み中に SD カードの抜差 しをすると、データ破損や本体故障の原因となりますのでご注意ください。 ●SD カードは指定以外の方向で差込まないでください。故障や破損の原因となります。 ●本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをするとカー ドのデータが破損する恐れがあります。 ・SDカードまたは本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。 ・SDカードを水にぬらしたり、曲げたり、強い衝撃を与えた場合。 ・パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。 ・長期間使用しなかった場合。

消耗した内蔵バッテリーを使用し続けた場合。

#### ※万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合な ど、本製品の作動有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

はじめに

## 映像の記録

- ◇ 車両への衝撃またはトリガスイッチを押すと、その前後合計 20 秒の映像 データを自動で記録するシステムです。
  - ※ 起動直後や映像の記録直後など記録前の映像が無い場合、記録時間の短い映像が 記録されることがありますが故障ではありません。



◇ 映像データは SD カードへ保存されますので、パソコンで映像の確認をすることができます。(専用ビューワーソフト付属)

◇ 事故発生時に記録された映像を基に、事故状況の解析を行うことができます。

- ◇ 本製品が記録する映像のフレームレートは「10fps」となります。
  - ※ フレームレートとは1秒あたりの記録枚数を表しており、fps(Frames Per Second) という単位で表します。
    - ※ LED 信号機を撮影すると、信号が点滅したような映像が記録されますが異常では ありません。これは LED 信号機との同期対策のためで、数枚の記録画像において 信号機の状況を確認できるようにしたものです。
- ◇ 衝撃またはトリガスイッチを押した時点の前 12 秒、後 8 秒の合計 20 秒の映像を記録します。
- ◇ 映像を記録する時に、加速度・時刻を同時に記録します。
  ※ 時刻は設定した時刻を記録します。
  - ※ 広角レンズを使用しているため、記録映像の中央部に比べその周囲が多少歪んで 記録される事があります。
- ◇ 3 軸加速度センサを用いた衝撃検出およびトリガスイッチによる映像記録が 可能です。 ※ 衝撃判定レベルは前後方向、左右方向別々に設定が可能です。
- ◇記録する映像のサイズは 640 × 480 となります。
- ◇ 付属の SD カード(128MB)で約 30 件程度の映像を記録可能です。
  ※ 映像によって記録件数は異なります。
  - ※ SD カードの容量が少なくなると古い映像から自動で上書きされていきます。トリ ガスイッチによる記録映像の最新5件は保護されて上書きされません。

## 製品の機能

### ビューワーソフト

記録した映像を専用ビューワーソフトで確認することができ、日時・加速度・ トリガ種類の確認もできます。

### ⚠ 注意

パソコンのセキュリティソフト等により、ビューワーソフトから SD カード内の記録映像を表示できない場合があります。その場合、SD カード内の「DR100 フォルダ」をお使いのパソコンにフォルダごとコピーし、ビューワーソフトからそのフォルダを参照し映像を確認してください。

## バックアップ機能

映像を「記録中」または「保存中」に電源 (ACC) が切断されても最後まで映 像を記録することができます。

※ 内蔵バッテリーの充電が不十分な場合や消耗している場合は、バックアップ機能が正常に作動しないことがありますのでご注意ください。

### 安全運転機能

加速度センサーが危険な運転を察知し、音で安全運転を促します。

### ■オートディマー機能

本製品は外の明るさによって自動的に LED の輝度を調整します。

### ⚠ 注意

SD カードは必ず付属品(P8)をお使いください。追加で購入される際は、 販売店へご注文ください。

<u>指定以外</u>の SD カードをご使用いただいた場合、<u>正常に作動しない</u>ことがありますの でご注意ください。

#### 品番 CSD12883 オープンプライス



## 製品本体



裏面



側面





## 梱包内容

### 付属品





電源コード

(約5m)



垂直調整プレート

コードクランプ(5 個)

エレクトロタップ(1個)

ステー固定用 両面テープ(1 枚)



SD カード(128MB) CSD12883



※出荷時本体に セットされています。





ビューワーソフト (CD-ROM)





脱脂クリーナー



## 取付け手順

下記手順を参考に取付けを行ってください。



## 取付け位置

取付け

### ⚠ 注意

- ※本体の取付け位置は道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より1/5以内のルームミラー裏側へ設置してください。その際ミラーの調整ができる位置に取付けしてください。
- ※ ワイパーの可動範囲に本製品を取付けることをおすすめします。範囲外に取付ける と雨天時十分な映像が記録できない可能性があります。

※ 地デジ等 TV のアンテナ近くには設置しないでください。

### ※ /// の範囲へドライブレコーダーを取付けてください。

運転席から見て、ルームミラーの陰になり、 視界を妨げない場所へ取付け フロントガラス 上部より1/5以内





## 電源の取付け

### ◇ ACC 線の取付け

付属電源コードの ACC 線をイグニッションキーが ACC 位置で電圧が 12V (12V 車の場合)、OFF の位置で必ず OV になる車両の配線に付属のエレクト ロタップで接続します。

※ OFF の位置で電圧が OV にならない車両はイグニッション電源へ接続してください。



### ◇エレクトロタップの使用方法



◇アース端子の取付け

電源コードのアース端子を車両アースボルトへ確実に共締めしてください。

⚠ 注意

アース端子とフレームの間に樹脂・塗装等があると確実なアースが取れません。そう いった場所へアース端子を取付けると動作が不安定になることがあります。

<取付け例>

取付け



◇電源コードの取付け

電源コードをステーのフックに引っ掛け、本製品に接続します。



◇ヒューズ交換方法

電源コードのヒューズホルダのキャップを開け、市販のガラス管ヒューズ (1A) と交換してください。また、初回取付け時やヒューズを交換した後は必ず絶縁 テープでヒューズホルダーを保護してください。



## 本体取付け



3 フロントガラスを付属のクリーナーでキレイにし、乾いた後、本製品が水平になるようにステーをフロントガラスへ貼り付けます。電源プラグ接続後、配線の取り回しを行ってください。

①ステーをフロントガラスに
 ②コードをフックにかける。
 ③電源プラグを接続する。
 貼り付けます。







※ 貼付面裏側のステー部を手でしっかり押さえて貼付けムラが無いようにしてください。 また、貼付後は、車外から貼付面にムラがないかを確認して下さい。



4 垂直調整プレートを掛け、道路に対して垂直になるように微調整を行った後、ステー角度 調整ネジを締め固定してください。



道路水平線が記録映像の中央~中央より 少し上にくるように調整してください。



⚠ 注意

- ・付属のクリーナーで貼り付け面の汚れ(油分・水滴など)をキレイにし、乾いてから取付けを 行ってください。
- 気温が低い場合、両面テーブの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから 貼付けをしてください。また、製品に直接ドライヤーの熱が当らないよう注意してください。
- 一度貼付けた両面テープは粘着力が弱くなりますので再使用しないでください。
- ・取付け後両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように 注意してください。外れる原因となります。
- ・ステー角度調整ネジを強く締めすぎると破損する恐れがありますのでご注意ください。
- ・本製品を車検シールの上に貼らないでください。
- ・車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。

◇垂直調整プレートの使い方

垂直調整プレートの切り欠きの間に本体ケースの△印が入るように調整してく ださい。



この間に調整してください。

※記録した映像が暗い場合



本製品を少し下向きになるように 調整してください。 ※道路水平線が中央より少し上にきます。

## SD カードの取出し方法

SDカードカバーを矢印の方向にスライドさせカバーを開けてください。その後SDカードを軽く押し込むと、SDカードが少し飛び出てくるので引き抜いてください。
※ 勢いよく飛び出ることがありますのでご注意ください。



## SD カードの挿入方法

SD カードカバーを開けた後、SD カードを「カチッ」と音がするまで押し込み、カバー を開ける時と逆の手順で閉めてください。



### ◇ SD カードの書き込み禁止スイッチについて

SD カードの書き込み禁止スイッチを必ず OFF にして使用してください。



### 電源を ON にする

キーを ON まで回し、エンジンを始動してください。



- ※ 必ず SD カードが入っていることを確認してください。SD カードが入ってないと使 用できません。
- ※ 初めて使用する時や、内蔵バッテリーの充電が不十分な時に「内蔵バッテリー異常」 のエラー (P35 参照) が出ることがありますが異常ではありません。そのまま動作確 認を進めてください。(その場合 ERROR ランプは点滅したままです)

### 電源を OFF にする

POWER ランプが緑色に点滅・点灯中にキーを OFF に回してください。



⚠ 注意

- POWER ランプが橙色に点滅・点灯している時(映像を記録中または保存中)はキー
   を OFF にしないでください。正常に記録できない恐れがあります。
- ・ SD カードを抜く時は必ず電源を OFF にし、POWER ランプ・ERROR ランプが 消灯していることを確認してください。本製品作動中に SD カードの抜き差しを行 うと、SD カード破損・データ消失・本体故障の原因となります。

取付け

## 動作確認

### 映像の記録方法

### 

Q:映像が記録されますか?(POWER ランプが下のような表示をしますか?)



※ 衝撃を検出する感度が悪い場合または良すぎる場合は衝撃検出レベルの調整を 行ってください。

#### <u>へ</u>注意 いになると、古いデータ

- SDカードの容量がいっぱいになると、古いデータから上書きして新しいデー タを記録します。
- ・映像の「記録中」・「保存中」・「初期チェック中」は、新しい映像を記録することはできません。
- ERROR ランプが橙点滅した場合は、映像を記録することはできません。エラー を解除してください。(P35 参照)
- 1回目の記録から次の記録までの時間が短い場合や起動直後は、保存される映像が短いことがあります。
- ・事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃で映像を記録することが出来ない場合があります。その場合は安全な場所に停止した後、トリガスイッチを押して記録してください。
- ・公道でブレーキによる確認は行なわないでください。

動作確認



## 動作確認



間以上の充電が必要です。 (充電は断続的に行うことも可能です。1日1時間程度の走行で約1週間で満充電 となります)

※ 取付け後、内蔵バッテリーの充電が不十分な間は「内蔵バッテリー異常」のエラーが 出ることがありますが故障ではありません。内蔵バッテリーの充電を行ってください。

## バックアップチェック機能

バックアップ機能が働いているか確認する為の機能です。正常に動作が完了しな い場合は充電が不十分であったり、内蔵バッテリーの寿命の可能性があります。



※ 何度もバックアップチェックを行うと内蔵バッテリーを消費しますのでご注意ください。 ※ バックアップ中にキーを ON にすると「再起動エラー」が出ることがあります。

## ビューワーソフト内容

「アイセーフ」で記録した映像をビューワーソフトを使用し、パソコンで確認 することができます。

※ ビューワーソフトをインストールしてから使用してください。(P24 ~ P27 参照)
 ※ SD カードリーダーは付属していません。お客様でご用意ください。

### ■映像選択画面



	9		•
1	SD カードの場所を検索します。	6	サムネイルの大きさを変更します。
2	選択した映像を開きます。	7	サムネイルの並べ替えをします。
3	選択したフォルダ内の全ての映像を開きます。	8	ビューワーソフトを終了します。
4	デスクトップを表示します。	9	フォルダ内にある映像を表示します。
5	ドライブレコーダー本体の設定を行います。	10	参照しているフォルダを表示します。

### ■記録映像のサムネイル画像



①表示フォルダ内での順番を表示します。

- ②記録方法の種類を表示します。
  - G…衝撃による記録

S…トリガスイッチを押したことによる記録 ③記録映像内の最大Gを表示します。

- ※ ビューワーソフト再生時の合成値(最大値) と異なることがあります。
- ④フォルダ名は日付と時間を基に付けられています。

### ■ビューワーソフト画面



 
 ・一映像の再生速度を変更します。
  $\bigcirc$ (「速度」の文字をクリックすると初期値に戻ります) ②映像の明るさを変更します。 速度 (「輝度」の文字をクリックすると初期値に戻ります) ③再生/一時停止します。 ④再生を停止します。 **(II)** (++1) ⑤1コマ戻ります。 □ コマ進みます。 (5)(6)(2) (3) (4)(7)(8) ⑦次の映像に進みます。 ⑧トリガの直前から再生します。



⑨衝撃をグラフで表示します。
 ⑩トリガの位置と種類を表示します。
 ⑪クリックするとグラフが表示されます。
 合成…衝撃の大きさをグラフに表示します。
 前後…前後の衝撃をグラフに表示します。
 左右…左右の衝撃をグラフに表示します。
 上下…上下の衝撃をグラフに表示します。

### ■ビューワーソフトインストール方法(Windows 2000 / XP)





### ■ビューワーソフトインストール方法(Windows Vista)





### ■記録映像の再生方法

ハソコンでの操作

※ 表示できる件数は 50 件までとなります。保存件数がそれ以上になる場合はフォルダ を分けて保存してください。



### ⚠ 注意

SD カードに保存される映像は限りがあります。SD カードがいっぱいになると古い映 像から自動的に上書きされていきます。保存しておきたい映像データについては、上 書きされる前にパソコンへデータを保存してください。

※ 記録した映像を何度も上書きし使用していますので映像を表示するまでの時間、書き込み 速度が遅くなることがあります。パソコンで SD カードをフォーマットすることで、安定 して映像を記録・保存することができるようになります。映像データをこまめにパソコン へ保存し、定期的な SD カードのフォーマットをおすすめします。(P29、P30 参照)

### ■記録した映像をパソコンへ保存

************************************	市販の SD カードリーダーなどを使用 し、パソコンへ SD カードを接続します。 エクスプローラなどから SD カードのド ライブを開き、SD カードの「DR100」 内にある「record」フォルダをダブル クリックしフォルダを開きます。 (SD カード → DR100 → record → フォルダの順で開きます)
22 ****** ****************************	保存したいフォルダの上で右クリッ クし「コピー」を選択します。 ※ コピーする際はフォルダごとコピーし てください。
3	任意のフォルダを作成し、保存先の 上で右クリックし「貼り付け」を選 択すれば映像の保存は完了です。

### ■記録映像の保存について

SD カードの容量が少なくなると古い映像から自動で上書きされていきます。 トリガスイッチによる記録映像の最新5件は保護されて上書きされません。



### ■ SD カードをフォーマットする

パソコンで SD カードをフォーマットすることで、安定して映像を記録・保存 することができるようになります。映像の記録・保存速度が遅くなった場合は、 SD カードをフォーマットすることをおすすめします。

※ フォーマットを行うことで SD カードのデータはすべて削除されます。保存しておき たいデータがある場合は必ずパソコンへ保存してからフォーマットを行ってください。



※ SD カードをフォーマットをした後に設定を行う際は、必ず一度本体で起動してくだ さい。(SD カード内に情報がないため、設定を行うことができません)また設定は 商品出荷時の状態に戻ります。(各設定がSDカード内に入っているため)

# パソコンでの設定

## 詳細設定

ビューワーソフトで日時設定、衝撃検出レベル、ブザー音量や安全運転機能の 設定が行えます。

2	0			
	<b>똏</b> 詳細設定			×
	▼ 設定ファイル保存先 : G¥DR100¥setup¥setup.dat			
	▶ 本体日時設定: 2008年2月4日 👤 18時20	0分28秒 🚽	□ 日時	設定する
	※本体の電源をONにする時間	を設定してくた	<u> ざ</u> おい	
	┃ →前後衝撃検出レベル : 8 ▼ (1:鈍感 ~ 16:	敏感)		
	■ ◆左右衝撃検出レベル : 8 ▼ (1:鈍感 ~ 16:	敏感)		
	→ ブザー音量設定 : 3 ▼ (1:最小 ~ 5:	最大)		
	安全運転機能設定 : OFF 🚽	初期値	取り消し	設定
I	4 0	U	$\odot$	O

1	 設定ファイルの保存先を表示します。	5	安全運転機能の ON・OFF が設定でき ます。(P33 参照 )
2	チェックを入れることにより、本体の日 時を設定します。(P32 参照)	6	工場出荷時の設定に戻します。 ※時刻は初期化されません。
3	前後・左右の衝撃検出レベルを設定しま す。(P32 参照)	7	設定をキャンセルします。
4	本体のブザーの音量を設定します。 (P32 参照)	8	設定を SD カードに書き込みます。

▲ 注意
│・ 各設定は本製品に SD カードを挿入し電源を ON にした時に反映されます。 日時の
設定を行う際は特にご注意ください。(各設定はSDカード内に入っています)
│・ SD カードをフォーマットをした後に設定を行う際は、必ず一度本体で起動してく
ださい。(SD カード内に情報がないため、設定を行うことができません)

# パソコンでの設定

日時設定



## 衝撃検出レベル設定(初期設定8)

車両への衝撃レベルを前後・左右別々に調整することができます。衝撃検出レ ベルを敏感に設定すると誤検出の原因となります。車両・運転レベルに応じて 調整を行ってください。

- ※ 車両の大きさによっては正常に作動しない場合があります。必ず衝撃検出レベルの調 整を行ってください。
- ※ 衝撃検出レベルは設定値が小さくなるほどセンサーの感度が鈍感になり、設定値が大 きくなるほどセンサーの感度が敏感になります。



## 音量調整(初期設定3)

ブザーの音量を5段階に調節できます。 ※車両電圧により音量は異なります。

# パソコンでの設定

### 安全運転機能(初期設定 OFF)

安全運転機能とは、一定以上の「G(加速・減速)」を検出するとブザー音「ピ ピピ! でお知らせする機能です。エコ運転の目安にしてください。

- ※ 衝撃検出レベルの設定に応じてレベルが変化します。
- ※本機能を使用しない場合は、「OFF」に設定してください。
- ※ ブザーが鳴らないように運転をすることで、加速・減速など運転をする際の目安にし てください。

### ■エコ運転を行う際の注意点

- 1. 丁寧なアクセルワークを心がけましょう。
- ・車間距離に余裕を持ち、急加速・急減速を行わず速度変化の少ない運転をしましょう。
- 3. 早めにアクセルを OFF にし、エンジンブレーキを有効に使いましょう。
- 4. 気象条件に応じたエアコン操作をしましょう
- 5. 無用なアイドリングはやめましょう。
- 6. タイヤの空気圧は定期的にチェックしましょう。
- 7. 無駄な荷物を車に積むのはやめましょう。



走行距離

走行距離

安全運転機能使用し、エコ運転を心がけましょう。

## 故障かな?と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
	●配線を間違えていませんか?	11~13ページ
電源が入らない	●ヒューズが切れていませんか?	13ページ
	●接触不良、断線などしていませんか?	11~13ページ
動作の破滅けどうすれば	●トリガスイッチを押し映像を記録することを確認してください。	19ページ
動作の確認はとう91にな いいですか?	●記録した映像をパソコンで確認し、取付け方向など確認を行っ てください。	15,28ページ
記録した映像を削除した いのですが?	●本体にてフォルダ構成を管理していますのでパソコン上で SD カード から映像を削除しないでください。削除する場合はパソコンに映像を 保存した上で SD カードのフォーマットを行ってください。	29,30ページ
事故の衝撃で車両バッテ リーが破損しても映像を記 録することはできますか?	●バックアップバッテリーを内蔵していますので、車両のバッテリーが破損しても映像を記録することができます。	6,21ページ
バックアップ機能で映像 が記録されない。	●正常に動作が完了しない場合は充電が不十分であったり内蔵 バッテリーの寿命の可能性があります。	21ページ
SD カードを失くしてしまったの ですがどうすればいいですか?	●指定の SD カードを購入してください。市販の SD カードを 使用された場合、思わぬ不具合を起こす恐れがあります。	6ページ
記録時間を変更するには どうすればいいですか?	●本製品は記録時間を変更することはできません。記録前 12 秒、 記録後 8 秒の合計 20 秒固定となります。	5ページ
SD カードの容量がいっぱい になったらどうなりますか?	● SD カードの容量がいっぱいになると古い映像から上書きされ る仕組みになっています。必要な映像はあらかじめパソコンへ 保存することをおすすめします。	29ページ

### ビューワーソフトについて

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
パソコンを持っていない のですが、映像を確認す ることはできますか?	●パソコン以外で映像を確認する事はできません。映像を確認する にはビューワーソフトに対応するパソコン・SD カードリーダーが 別途必要になります。	_
記録時間が短い映像があ りますが故障ですか?	●起動直後や映像の記録直後など記録前の映像が無い場合、記録時間の短い映像が記録されることがありますが故障ではありません。	5ページ
記録した映像は、事故の証拠 として認められていますか?	●事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。 完全な証拠としての効力を保証するものではありません。	—
ビューワーソフトで SD カー ドを認識しない。	●フォーマット直後の SD カードなど、SD カード内に本製品の情報 がないとビューワーソフトで認識できません。一度本体で起動して からご利用ください。	29,30 ページ

その他

その他

### エラー確認表

ERROR ランプ表示、ブザー音が発生した場合、下記内容をご確認ください。 ※ エラーが出た場合はキーを OFF にし対処してください。電源が入ったまま対処しても エラーは解除されません。エラーを解除するまで ERROR ランプ表示、ブザー音は鳴 り続けます。(トリガスイッチ異常、機器温度異常は除く)

(例) SD カード未検出時



ERROR ランプ

エラー項目	ERROR ランプ表示、ブザー音	エラー項目別対処方法
内蔵バッテリー 異常	ブッブッ(ブザー音は 1 度のみ) ●○●○	本体内蔵バッテリーの電圧が低下しています。定期的 に内蔵バッテリーの充電を行ってください。
トリガ スイッチ異常	ブッブッブッ(ブザー音は 1 度のみ) ●◯●◯●◯	トリガスイッチが押されたままになっていないか 確認をしてください。
SD カード 未検出	ブッブッブッブッ ●○●○●○●○	SD カードは入っていますか?
SD カード プロテクト異常	ブッ ×5 ●○●○●○●○●○	SD カードの書込み禁止スイッチが ON になって いませんか? (P16 参照 )
SD カード 残量異常	ブッ×6 ●○●○●○●○●○●○●○●○	SD カードの容量が少ない、保存ができないため、 映像を記録することが出来ません。SD カードのデー タをパソコンへ保存後、フォーマットしてください。
SD カード 異常	ブッ ×7 ●○●○●○●○●○●○●○●○	SD カードへの書込みができない状態です。パソコ ンで SD カードのフォーマットを行ってください。
機器異常	ブッ ×8 ●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○	キーを OFF にし、メインユニット内蔵バッテリー を外し、リセットを行って下さい。症状が改善さ れない場合は、購入された販売店へご相談下さい。
機器温度 異常	ブー 橙点灯	本体の使用温度範囲を超えています。夏場などは しばらく時間をおいてからご使用ください。 ※解消するまで3分に一度ブザー報知します。
再起動	ブー(連続音) 橙点灯	バックアップチェック中にキー ON にするとブー とブザー音が鳴り続けます。キーを OFF にし、 再起動してください。

●:ERROR ランプ点灯 ( 橙 ) ○:ERROR ランプ消灯

- ※ ERROR ランプとブザー音は同期しています。
- ※ 正常時、ERROR ランプは緑点灯しています。

## ブザー音、POWER / ERROR ランプ確認表

本体作動時のブザー音、POWER / ERROR ランプ点灯パターンの確認表です。

ブザー音	POWER ランプ 表示	ERROR ランプ 表示	内容
ピピ(完了時)	橙点灯	消灯	初期チェック中
ピーピピ	橙点灯	消灯	時刻設定完了
—	早い橙点滅	消灯	バックアップチェック
ピー	橙点滅	緑点灯	衝撃検出
	橙点滅	緑点灯	記録中
—	橙点灯	緑点灯	保存中
ピピピ	—	—	安全運転報知
—	緑点灯/点滅	緑点灯	正常動作
_	_	橙点灯/点滅	異常表示 エラー確認表を参照してください

※ キー OFF 時はブザー音は鳴りません。

### 製品仕様

#### ◇本体

電源電圧	DC12/24V
作動温度範囲	-10°C~60°C
本体サイズ	106 (W) ×59 (H)
	× 27(D)/ mm(突起部除く)
有効画素数/	30 万画素/ CMOS
撮像素子	
記録映像サイズ	640 × 480
内蔵カメラ角度	水平画角 105° 垂直画角 78°
記録メディア	SD カード 128MB
記録件数	約 30 件
記録データ	10fps /前後合計 20 秒
記録トリガ	3軸加速度センサ、トリガスイッチ
重量	160 g



#### ◇ビューワーソフト

#### 稼動条件

- OS Windows2000 / WindowsXP / WindowsVista
- CPU OS が快適に動作するために必要な CPU
- メモリ OS が快適に動作するために必要なメモリ
- その他
   SD カードが挿入できること(SD カードリーダーは本製品に付属しておりません。

   お客様にて市販の SD カードリーダーをご購入ください)
- ※ OS はいずれも日本語版のみの対応となります。
- ※ 本製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。